

～ 運転者の危険感受性を高める動画を用いた危険予測教育 ～

危険 予測 トレーニング

動画 K Y T

(運転者疑似体験型集合教育装置)

実際の交通状況を再現した動画を見ながら危険を予測し、結果を受講者同士が振り返って議論することで学ぶ安全教育です。

コンピューターグラフィックによる動画を見ながら、危険を感じた場面に手元のボタンを押し、危険予測を行います

その後、ボタンを押した時点を記録したデータをスクリーンに表示し、「どのように感じたのか」などのディスカッションを受講者同士で行うことで、車や二輪車を運転する際の安全を学びます。



安全教育の様子



お問い合わせ先：最寄りの警察署又は警察本部交通企画課交通安全対策室

026 - 233 - 0110内線5034 まで

